

富山大学大学院医学薬学研究部和漢診療学講座活動報告

教授	嶋田 豊
准教授	後藤博三
講師	引網宏彰
助教	小尾龍右
助教	野崎和也（～7月）
医員	山本佳乃子 織田 聡
大学院生（博士）	藤本 誠 中田真司 野上達也 岡 洋志 渡辺哲郎 井上博喜 永田 豊 木村真梨
研究生	古谷陽一
事務補佐員	羽岡智章 高林美智子

研究概要

これまで当講座では、漢方医学特有の病態を客観的に評価し、如何に臨床医学へ応用するかについて研究してきた。また、漢方方剤・生薬・成分の薬理作用について、微小循環系、自律神経系、免疫系などの視点から多方面にわたって研究してきた。今年度はプロテオーム解析を用いて漢方医学的病態概念である瘀血の診断マーカーの探索や各種漢方方剤の効果について検討し報告した。また、漢方方剤の無症候性脳梗塞患者への長期投与効果についての臨床研究や非アルコール性脂肪性肝疾患 (NAFLD) または糖尿病モデル動物を用いた漢方方剤の効果と作用機序の解明を行った。

診療活動

本学附属病院和漢診療科として、外来は月曜日から金曜日までの週5日間、午前中の外来を行うとともに、多様な患者のニーズに応えるべく、水・金の週2日間は午後外来も行き、延べ21診を行っている。また入院患者は西洋医学的にも難治性疾患が多いが、在院日数の短縮のため、効率的な検査・治療計画を立てて治療にあたっている。教授回診、病棟カンファレンスを週1回行い、病棟カンファレンスにおいて西洋医学的および東洋医学的診断・治療について討議している。治療法は主として和漢薬煎剤を用い、適宜エキス製剤と西洋薬を併用している。

教育活動

現在医学部学生に対して、2年次に「和漢医学入門」、「医学薬学史」の講義実習を行い、3年次では「基礎配属」の4週間の間に漢方に興味を持つ学生に基礎研究を紹介している。また、4年次に「和漢診療学」の系統講義を行い、「基本的診療技能実習」と題した診察方法に関する実習を行っている。5年次より6年次にかけては、1グループ1週間のクリニカルクラークシップ（臨床実習）を計42週行っている。さらに、その中で漢方医学に興味のある学生に対しては6年次の前期に「選択的臨床実習」として、1グループ4週間の実習を計2回行っている。また、薬学部でも3年次に「東洋医学概論」と題した系統講義を行っている。

卒業教育に関しては、初期臨床研修2年間のうち、2年目で当科の選択研修を希望した初期研修医の研修を1～3ヶ月間受け入れている。また、初期臨床研修2年を終了した後期研修医を積極的に受け入れている。後期研修医は当大学附属病院で東西医学融合診療を学んだ後、関連病院で認定内科医および漢方専門医取得に向けての研修を行っている。

また、当大学和漢医学総合研究所漢方診断学部門と協力して、学外医師や学生の短期研修（1～2週間）あるいは長期研修（3ヶ月～1年）を受け入れて、和漢診療の普及に努めている。

さらに大学院教育として大学院医学薬学教育部に「東西統合医学専攻」が設置され、当講座はその中心的役割を担いつつ、東西医学を融合し、先端的研究を推進しうる若手研究者を育成している。

著書

- 1) 嶋田 豊: 漢方と水. 「からだと水の事典」佐々木 成, 石橋賢一 編, 328, 朝倉書店, 東京, 2008.
- 2) 後藤博三, 寺澤捷年: 漢方薬. 「治療薬 Up-to-Date 2008」矢崎義雄 監修, 829-838, メディカルレビュー社, 大阪, 2008.
- 3) 野上達也: 感冒性下痢・嘔吐下痢症. 「使ってみよう! こんな時に漢方薬」三瀧忠道 監修, 78-79, シービーアール, 東京, 2008.

原著

- 1) Hikiyama H., Nozaki K., Nagata Y., Nakata S., Nogami T., Obi R., Goto H., Shibahara N., Shimada Y.: Biomarkers of endothelial

- dysfunction are elevated in patients with rheumatoid arthritis with oketsu (blood stasis). *J. Trad. Med.*, 25: 103-107, 2008.
- 2) Kiga C., Goto H., Sakurai H., Hayashi K., Hikiami H., Shimada Y., Saiki I.: Effects of traditional Japanese (Kampo) medicines (orengedokuto, goreisan and shichimotsukokato) on the onset of stroke and expression patterns of plasma proteins in spontaneously hypertensive stroke-prone rats. *J. Trad. Med.*, 25: 125-132, 2008.
 - 3) Goto H., Shimada Y., Hikiami H., Kobayashi S., Yamaguchi S. Matsui R., Shimode K., Mitsuma T., Shintani T., Ninomiya H., Niizawa A., Nagasaka K., Shibahara N., Terasawa K.: Effect of keishibukuryogan on silent brain infarction over 3 years. *Kampo Med.*, 59: 471-476, 2008.
 - 4) Fujimoto M., Tsuneyama K., Kainuma M., Sekiya N., Goto H., Takano Y., Terasawa K., Selmi C., Gershwin M. E., Shimada Y.: Evidence-based efficacy of Kampo formulas in a model of non alcoholic fatty liver. *Exp. Biol. Med.*, 233: 328-337, 2008.
 - 5) Nakagawa T., Goto H., Hussein G., Hikiami H., Shibahara N., Shimada Y.: Keishibukuryogan ameliorates glucose intolerance and hyperlipidemia in Otsuka Long-Evans Tokushima Fatty (OLETF) rats. *Diabetes Res. Clin. Pract.*, 80: 40-47, 2008.
 - 6) Kato I., Oya T., Suzuki H., Takasawa K., Ichsan A. M., Nakada S., Ishii Y., Shimada Y., Sasahara M., Tobe K., Takasawa S., Okamoto H., Hiraga K.: A novel model of insulin-dependent diabetes with renal and retinal lesions by transgenic expression of CaMKII α (Thr286Asp) in pancreatic β -cells. *Diabetes-Metab. Res. Rev.*, 24: 486-497, 2008.
 - 7) Kiga C., Sakurai H., Goto H., Hayashi K., Shimada Y., Saiki I.: Proteomic identification of haptoglobin as a stroke plasma biomarker in spontaneously hypertensive stroke-prone rats. *Life Sci.*, 83: 625-631, 2008.
 - 8) Nakanishi Y., Tsuneyama K., Nomoto K., Fujimoto M., Salunga T. L., Nakajima T., Miwa S., Murai Y., Hayashi S., Kato I., Hiraga K., Hsu D. K., Liu F. T., Takano Y.: Nonalcoholic steatohepatitis and hepatocellular carcinoma in galectin-3 knockout mice. *Hepatol. Res.* 38: 1241-1251, 2008.
 - 9) Nakanishi Y., Tsuneyama K., Fujimoto M., Salunga T. L., Nomoto K., An J. L., Takano Y., Iizuka S., Nagata M., Suzuki W., Shimada T., Aburada M., Nakano M., Selmi C., Gershwin M. E.: Monosodium glutamate (MSG): a villain and promoter of liver inflammation and dysplasia. *J. Autoimmun.* 30: 42-50, 2008.
 - 10) Obi N., Hayashi K., Miyahara T., Shimada Y., Terasawa K., Watanabe M., Takeyama M., Obi R., Ochiai H.: Inhibitory effect of TNF- α produced by macrophages stimulated with *Grifola frondosa* Extract (ME) on the growth of influenza A/Aichi/2/68 virus in MDCK cells. *Am. J. Chin. Med.*, 36: 1171-1183, 2008.
 - 11) Matsumoto C., Kojima T., Ogawa K., Kamegai S., Oyama T., Shibagaki Y., Kawasaki T., Fujinaga H., Takahashi K., Hikiami H., Goto H., Kiga C., Koizumi K., Sakurai H., Muramoto H., Shimada Y., Yamamoto M., Terasawa K., Takeda S., Saiki I.: A proteomic approach for the diagnosis of `Oketsu` (blood stasis). a pathophysiologic concept of Japanese traditional (Kampo) medicine. *Evid. Based Complement. Alternat. Med.*, 5: 463-474, 2008.

症例報告

- 1) 古谷陽一, 津田昌樹, 森 昭憲, 小尾龍右, 引網宏彰, 後藤博三, 嶋田 豊: 高齢の経管栄養患者における反復性気道感染に鍼灸治療を行った 3 例. *日本東洋医学雑誌*, 59: 633-640, 2008.
- 2) 小尾龍右, 藤本 誠, 野崎和也, 引網宏彰, 後藤博三, 柴原直利, 嶋田 豊: 右手指切断後の幻肢痛・断端痛に対し当帰芍薬散料加烏頭が有効であった一例. *漢方の臨床*, 55: 35-39, 2008.
- 3) 野崎和也, 井上博喜, 小尾龍右, 引網宏彰, 嶋田 豊: 当科における関節リウマチ患者の消化管アミロイドーシスに関する検討. *中部リウマチ*, 39: 8-9, 2008.
- 4) 八木清貴, 篠田晃一郎, 多喜博文, 杉山英二, 嶋田 豊: MPO-ANCA 陽性顕微鏡的多発血管炎の治療経過中に肥厚性硬膜炎を合併した二例. *中部リウマチ*, 39: 46-47, 2008.

総説

- 1) 嶋田 豊: 漢方医学の歴史と現在. そしてエビデンスへの取り組み. アーユルヴェーダ研究, 37, 2008.
- 2) 後藤博三: 動脈硬化と漢方. アンチ・エイジング医学—日本抗加齢医学会雑誌, 4: 785-789, 2008.
- 3) 後藤博三: 脳神経疾患. 漢方と最新治療, 67: 245-251, 2008.

学会報告

- 1) Goto H.: The concept of traditional Japanese medicine on neurological disease. The 9th Korean Medicine Association of Stroke, 2008, 9, 28, Seoul. (Invited lecture)
- 2) 嶋田 豊: 内科診療に役立つ漢方. エビデンスを中心に. 日本内科学会北陸支部第43回生涯教育講演会 2008, 3, 2, 富山. (招待講演)
- 3) 永田 豊, 野崎和也, 井上博喜, 村井政史, 小尾龍右, 引網宏彰, 酒井伸也, 後藤博三, 柴原直利, 嶋田 豊: 塩酸フェニルプロパノールアミン (PPA) 各有医薬品で発症した高血圧性緊急症の1症例. 第204回日本内科学会北陸地方会, 2008, 3, 2, 富山.
- 4) 高橋雅法, 吉田淑子, 岡部素典, 木村真梨, Teng Zan, 戸田文香, 米田徳子, 京 哲, 清野透, 柴原直利, 二階堂敏雄: 褥瘡モデルラットを用いた不死化羊膜間葉細胞添加 Collagen gell による創傷治癒効果の検討. 第7回日本再生医療学会総会, 2008, 3, 13-14, 名古屋.
- 5) 藤本 誠, 常山幸一, 中西ゆう子, 高野康雄, 嶋田 豊: MSG マウス: 肥満, 2型糖尿病を背景として発症する非アルコール性脂肪性肝疾患/脂肪性肝炎の新たな動物モデル. 第44回日本肝臓学会総会, 2008, 6, 5-6, 愛媛.
- 6) 引網宏彰: 高齢者の急症・難症に対する漢方治療. 平成20年度日本東洋医学会北陸支部特別講演会・専門医制度夏季教育講演会, 2008, 7, 13, 富山. (招待講演)
- 7) 篠田晃一郎, 杉山英二, 多喜博文, 朴木博幸, 松井祥子, 長田龍介, 関 英子, 引網宏彰, 松下 功, 木村友厚, 戸邊一之: 関節リウマチ患者における動脈硬化危険因子の罹患率に関する検討. 第52回日本リウマチ学会総会・学術集会, 第17回国際リウマチシンポジウム, 2008, 4, 20-23, 札幌.
- 8) 犬塚 央, 野上達也, 木村豪雄, 田原英一, 三瀨忠道: 高齢者施設で多発した嘔吐下痢症に対する黄芩湯の使用経験. 第59回日本東洋医学会学術総会, 2008, 6, 6-8, 仙台.

- 9) 後藤博三: 脳血管障害後遺症患者の機能低下と自立度低下に対する当帰芍薬散の効果. 第59回日本東洋医学会学術総会, 2008, 6, 6-8, 仙台.
- 10) 中田真司, 渡辺哲郎, 野崎和也, 引網宏彰, 後藤博三, 嶋田 豊: 尋常性乾癬に桂枝人参湯が奏功した一例. 第59回日本東洋医学会学術総会, 2008, 6, 6-8, 仙台.
- 11) 古谷陽一, 折笠秀樹, 山本 樹, 森 昭憲, 中田真司, 岡 洋志, 渡辺哲郎, 引網宏彰, 嶋田 豊: 天候と身体症状の関連性. 気血水の病態を用いた解析. 第59回日本東洋医学会学術総会, 2008, 6, 6-8, 仙台.
- 12) 引網宏彰, 岡 洋志, 渡辺哲郎, 森 昭憲, 小尾龍右, 後藤博三, 柴原直利, 嶋田 豊: 発汗過多を伴う抑鬱患者に竜骨湯が奏効した3症例. 第59回日本東洋医学会学術総会, 2008, 6, 6-8, 仙台.
- 13) 南澤 潔, 八木清貴: 抑鬱状態に八味地黄丸が奏効した壮年早期患者の2例. 第59回日本東洋医学会学術総会, 2008, 6, 6-8, 仙台.
- 14) 伊藤 隆, 仙田晶子, 山本佳乃子, 深谷 良, 王子 剛: 気うつ方剤と気逆方剤の反応例の心理テストの検討. 第59回日本東洋医学会学術総会, 2008, 6, 6-8, 仙台.
- 15) Cho Kiho, 後藤博三: A Preliminary Study on the Inhibitory Effect of Chunghyul-dan on Stroke Recurrence in Patients with Small Vessel Disease. 第59回日本東洋医学会学術総会, 2008, 6, 6-8, 仙台.
- 16) 深谷 良, 仙田晶子, 山本佳乃子, 王子 剛, 伊藤 隆: 経管栄養開始に伴う嚥下性肺炎に対して大建中湯が著効した3例. 第59回日本東洋医学会学術総会, 2008, 6, 6-8, 仙台.
- 17) 井上博喜, 後藤博三, 永田 豊, 引網宏彰, 柴原直利, 嶋田 豊: 悪性腫瘍の集学的治療における漢方薬の役割. 第59回日本東洋医学会学術総会, 2008, 6, 6-8, 仙台.
- 18) 柴原直利, 関矢信康, 小尾龍右, 岡 洋志, 酒井伸也, 引網宏彰, 後藤博三, 嶋田 豊: 治喘一方 (東郭) が奏功した気管支喘息の二症例. 第59回日本東洋医学会学術総会, 2008, 6, 6-8, 仙台.
- 19) 永田 豊, 中田真司, 井上博喜, 引網宏彰, 後藤博三, 柴原直利, 嶋田 豊: 四逆散料が有効であった子宮内膜増殖症の一症例. 第59回日本東洋医学会学術総会, 2008, 6, 6-8, 仙台.
- 20) 小尾龍右, 藤本 誠, 野崎和也, 引網宏彰, 酒井伸也, 後藤博三, 柴原直利, 嶋田 豊: 右手指切断後の幻肢痛・断端痛に対し当帰芍薬散が

- 烏頭が有効であった一例. 第 59 回日本東洋医学会学術総会, 2008, 6, 6-8, 仙台.
- 21) 後藤博三, 永田 豊, 引網宏彰, 嶋田 豊, 新谷卓弘, 三瀨忠道, 柴原直利, 関矢信康, 藤永洋, 寺澤捷年: 高血圧症患者における和漢薬治療の精神症状と血圧変動に及ぼす影響. 第 59 回日本東洋医学会学術総会, 2008, 6, 6-8, 仙台.
 - 22) 福田秀彦, 長坂和彦: COPD, 間質性肺炎に伴う諸症状に対して人参湯が有効だった 3 症例. 第 59 回日本東洋医学会学術総会, 2008, 6, 6-8, 仙台.
 - 23) 藤永 洋, 高橋宏三, 引網宏彰, 小暮敏明, 嶋田 豊: 線維筋痛症の証の検討. 第 59 回日本東洋医学会学術総会, 2008, 6, 6-8, 仙台.
 - 24) 八木清貴, 中田真司, 南澤 潔: 開腹術後の便通異常に漢方薬が奏効した 2 例. 第 59 回日本東洋医学会学術総会, 2008, 6, 6-8, 仙台.
 - 25) 石上盛敏, 織田 聡, 山本 豊, 松浦康弘, 青墳信之, 脇田 久, 狩野繁之: 三日熱マラリア原虫ミトコンドリアゲノム解析の渡航医学への応用. 輸入マラリア患者の感染地の推定. 第 12 回日本渡航医学会学術集会, 2008, 7, 18-19, 岡山.
 - 26) 後藤博三, 岡 洋志, 引網宏彰, 谷川聖明, 野崎和也, 小尾龍右, 柴原直利, 新谷卓弘, 三瀨忠道, 嶋田 豊: 慢性腎臓病における補中益気湯の効果. 第 25 回和漢医薬学会大会, 2008, 8, 30-31, 大阪.
 - 27) 長坂和彦, 福田秀彦, 橋本正也, 江部康二, 江部洋一郎: 漢方薬はクレアチニンを有意に低下させる. 第 25 回和漢医薬学会大会, 2008, 8, 30-31, 大阪.
 - 28) 柴原直利, 小尾龍右, 野崎和也, 条美智子, 岡洋志, 関矢信康, 引網宏彰, 後藤博三, 嶋田豊: アトピー性皮膚炎における加味逍遙散の適応病態に関する検討. 第 25 回和漢医薬学会大会, 2008, 8, 30-31, 大阪.
 - 29) 村上孝壽, 崔 虎山, 堀 仁美, 小尾龍右, 松本欣三: 脳虚血に対するベルベリンの保護効果とその作用機序. 海馬切片培養系及び脳内透析法による検討. 第 25 回和漢医薬学会大会, 2008, 8, 30-31, 大阪.
 - 30) 櫻井宏明, 木我千鶴, 後藤博三, 林 和子, 嶋田 豊, 済木育夫: 脳卒中易発症自然高血圧ラットにおける血漿ハプトグロビン低下とそれに対する漢方方剤の効果. 第 25 回和漢医薬学会大会, 2008, 8, 30-31, 大阪.
 - 31) 城野花名, 条美智子, 中川孝子, 田代いずみ, 木村真梨, 野崎和也, 引網宏彰, 後藤博三, 嶋田 豊, 柴原直利: 桂枝加芍薬湯中の芍薬増量が及ぼす腸管運動抑制作用に対する影響についての研究. 第 25 回和漢医薬学会大会, 2008, 8, 30-31, 大阪.
 - 32) 原島寿江, 条美智子, 中川孝子, 宮田真由香, 金子真利亜, 藤本 誠, 中田真司, 後藤博三, 嶋田 豊, 柴原直利: チオアセトアミド誘発肝線維化に対する桂枝茯苓丸の効果. 第 25 回和漢医薬学会大会, 2008, 8, 30-31, 大阪.
 - 33) 宮田真由香, 条美智子, 中川孝子, 田代いずみ, 金子真利亜, 岡 洋志, 中田真司, 後藤博三, 嶋田 豊, 柴原直利: 5/6 腎摘慢性腎不全モデルにおける桂枝茯苓丸・補中益気湯の腎障害進展に対する影響. 第 25 回和漢医薬学会大会, 2008, 8, 30-31, 大阪.
 - 34) 条美智子, 岡 洋志, 宮田真由香, 中川孝子, 引網宏彰, 後藤博三, 嶋田 豊, 柴原直利: 五苓散による腎臓のイオンチャンネル及び腎機能の影響. 第 25 回和漢医薬学会大会, 2008, 8, 30-31, 大阪.
 - 35) 引網宏彰, 野崎和也, 井上博喜, 野上達也, 藤本 誠, 小尾龍右, 後藤博三, 柴原直利, 嶋田豊: 関節リウマチ患者における腎虚と骨粗鬆症との関連性. 第 25 回和漢医薬学会大会, 2008, 8, 30-31, 大阪.
 - 36) 古谷陽一, 折笠秀樹, 山本 樹, 中田真司, 岡洋志, 渡辺哲郎, 引網宏彰, 嶋田 豊: 冷え症と漢方的病態の関連. 氣血水スコアを用いた解析. 第 25 回和漢医薬学会大会, 2008, 8, 30-31, 大阪.
 - 37) 中田真司, 引網宏彰, 後藤博三, 嶋田 豊: 難治性の噫気に麦門冬湯が奏効した 1 例. 第 18 回漢方治療研究会. 2008, 9, 21, 千葉.
 - 38) 引網宏彰, 後藤博三, 柴原直利, 嶋田 豊: 発熱を繰り返す膿胸・癌性胸膜炎に人参養栄湯(聖剤総録)が有効であった 1 例. 第 18 回漢方治療研究会. 2008, 9, 21, 千葉.
 - 39) 古谷陽一, 折笠秀樹, 山本 樹, 中田真司, 岡洋志, 渡辺哲郎, 嶋田 豊: インフルエンザ流行期における上気道感染の発症を予測できるか? 和漢診療学の病態に基づく診断モデルの提案. 第 18 回漢方治療研究会. 2008, 9, 21, 千葉.
 - 40) 野上達也, 南澤 潔, 引網宏彰, 嶋田 豊: 随証治療が奏効している骨髄異形成症候群(不応性貧血)の一例. 第 18 回漢方治療研究会. 2008, 9, 21, 千葉.
 - 41) 木村真梨, 永田 豊, 藤本 誠, 小尾龍右, 引網宏彰, 後藤博三, 嶋田 豊, 柴原直利: 鍼灸治療が奏効したスポーツ障害の 2 症例. 第 34

回日本東洋医学会北陸支部例会. 2008, 10, 26, 金沢.

- 42) 立野 豊, 管野俊輔, 山形由紀, 八木清貴, 南澤 潔: 顔面痛に対する鍼灸治療の経験. 第34回日本東洋医学会北陸支部例会. 2008, 10, 26, 金沢.
- 43) 山形由紀, 管野俊輔, 立野 豊, 八木清貴, 南澤 潔: 下肢のしびれに対する鍼治療の効果. 第34回日本東洋医学会北陸支部例会. 2008, 10, 26, 金沢.
- 44) 管野俊輔, 山形由紀, 立野 豊, 八木清貴, 南澤 潔: 周産期マイナートラブルに対する鍼灸治療. 第34回日本東洋医学会北陸支部例会. 2008, 10, 26, 金沢.
- 45) 山本佳乃子, 織田 聡, 永田 豊, 小尾龍右, 引網宏彰, 後藤博三, 柴原直利, 嶋田 豊: 糖尿病患者にみられた左季肋部痛, 便秘に柴胡桂枝湯が有効であった1例. 第34回日本東洋医学会北陸支部例会. 2008, 10, 26, 金沢.
- 46) 織田 聡, 山本佳乃子, 永田 豊, 小尾龍右, 引網宏彰, 後藤博三, 柴原直利, 嶋田 豊: 柴胡桂枝湯が奏効した舌痛症の一例. 第34回日本東洋医学会北陸支部例会. 2008, 10, 26, 金沢.
- 47) 後藤博三: 脳血管障害における和漢薬治療の役割. 日本東洋医学会関東甲信越支部2008年度群馬県部会, 2008, 11, 23, 高崎. (招待講演)

その他

- 1) 祖父江元, 服部直樹, 小池春樹, 池田修一, 嶋田 豊, 林 正男, 栗山 勝, 犬塚 貴, 橋本修二, 溝口功一, 鷺見幸彦, 寶珠山稔, 丸山晋二, 稲葉静代, 宮田和明, 小長谷正明, 松岡幸彦: 中部地区スモン患者の実態. 平成14年度~19年度における検診結果から. 厚生労働科学研究費補助金(難治性疾患克服研究事業)スモンに関する調査研究班. 平成17年度~19年度総合研究報告書. pp. 24-26, 2008, 3
- 2) 祖父江元, 服部直樹, 小池春樹, 池田修一, 嶋田 豊, 林 正男, 栗山 勝, 犬塚 貴, 橋本修二, 溝口功一, 鷺見幸彦, 寶珠山稔, 丸山晋二, 稲葉静代, 宮田和明, 小長谷正明, 松岡幸彦: 中部地区スモン患者の実態. 平成14年度~19年度における検診結果から. 平成19年度厚生労働科学研究費補助金(難治性疾患克服研究事業)スモンに関する調査研究班研究報告会, 2008, 2, 8, 東京.
- 3) 祖父江元, 服部直樹, 小池春樹, 池田修一, 嶋田 豊, 林 正男, 栗山 勝, 犬塚 貴, 橋本

修二, 溝口功一, 鷺見幸彦, 寶珠山稔, 丸山晋二, 稲葉静代, 宮田和明, 小長谷正明, 松岡幸彦: 平成19年度中部地区スモン患者の実態. 厚生労働科学研究費補助金(難治性疾患克服研究事業)スモンに関する調査研究班. 平成19年度総括・分担研究報告書, pp. 27-29, 2008, 3.

- 4) 嶋田 豊: 富山大学の21世紀COEプログラムについて. 漢方医学, 32: 41, 2008.
- 5) 引網宏彰: 呼吸器疾患と漢方. 魚津市医師会学術講演会, 2008, 1, 富山.
- 6) 嶋田 豊: スペシャルインタビュー. 東洋医学と西洋医学が融和した全人的な医療をめざす. 和漢診療科を探究. ISHIN「医心」, 7, pp. 34-38, 2008, 1-2.
- 7) 引網宏彰, 嶋田 豊: 認知症と漢方. 医報とやま, 1462, p. 6, 2008, 9.
- 8) 引網宏彰: 漢方概論及び症例について. 平成20年度第9回高岡医療圏薬剤師会研修会, 2008, 3, 富山.
- 9) 引網宏彰: 神経・筋領域と漢方医学(保存版・神経・筋領域漢方マニュアル). TSUMURA Medical Today「領域別入門漢方医学シリーズ」, 2008, 5.
- 10) 野上達也: 真夜中の症状. こむらがえり. JIM, 18: 859, 2008.
- 11) 小尾龍右: 女性の健康管理について. 和漢診療の視点から. 2008, 3, 富山.
- 12) 小尾龍右: 神経・筋と漢方. 春日山漢方勉強会, 2008, 3, 上越.
- 13) 小尾龍右: 女性の健康管理について. 和漢診療の視点から. 2008, 8, 富山.
- 14) 小尾龍右: リウマチ・自己免疫疾患と漢方. 春日山漢方勉強会, 2008, 8, 上越.
- 15) 小尾龍右: 炎症性腸疾患の和漢薬治療. 第15回富山県IBD教室, 2008, 11, 高岡.
- 16) 小尾龍右: 血液・産婦人科領域の漢方. 春日山漢方勉強会, 2008, 11, 上越.
- 17) 野上達也: プライマリケアに用いる漢方. 第20回医学生・研修医のための家庭医療学夏期セミナー. 日本家庭医療学会学生・研修医部会, 2008, 8, 11, 新潟.
- 18) 古谷陽一: なぜ漢方を科学的に研究するのか? その理由と心構え. 漢方の臨床, 55: 140-141, 2008.